

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日		月 日	
経過	当日 (治療前)		当日 (治療後)	
目標	治療のための準備ができる 不安なく治療を受けることができる		穿刺部位の異常 (出血、発赤、腫れ)がない 38℃以上の発熱がない 安静が守れる 生活習慣のための行動目標が たてられる	
検査				
食事	治療の開始時間により □延食になります(昼) □軽食になります(昼) □いつも通り食事を 済ませてください ※水分の制限はありません		治療後より飲食可能です	
	朝食は 自宅で	看護師が 説明します		
処置・観察	毛剃りを行う場合があります (部位 )		体温、脈拍、血圧酸素飽和度を 1～2時間ごとに測ります	
	リストバンドを手首か足首に 装着します (退院日まで装着します)  治療前に体温、脈拍、血圧 酸素飽和度を測ります 午前・午後 時から治療が始まります		＜肘穿刺の場合＞ 出血を予防するため止血バンドを します  6時間後に、看護師がシーネを はずし、包帯を巻きます  出血・血腫などの有無を確認します	
注射・内服	点滴の針を入れます 尿の管を入れます		体温、脈拍、血圧、酸素飽和度を 測ります(1回/日)	
	 持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡しください 普段の薬は、治療前の指示に 従って内服してください		 点滴がついたまま 病室に戻ります  点滴終了後も 管は抜かずに残します	
行動	 治療前にトイレを済ませ化粧を とり、入れ歯、時計、アクセサリ ー、眼鏡を外してください		容態により退院後の お薬が出ます	
	 検査着に着替えてください   車椅子で治療室に行きます		医師の検創後、制限ありません   退院した日はシャワーのみ  退院翌日から入浴できます	
説明	 医師より説明 ・入院後の検査や治療計画に ついて		 看護師より説明 ・退院後の療養について	
	 看護師より説明 ・入院生活について ・治療前後の処置や安静について ・生活習慣について   薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		 医師より説明 治療結果と今後の 治療計画について (治療当日または翌日)   看護師より説明 ・治療後の安静について	

\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

05-170-5 2019.10.3 版

京都第一赤十字病院

\* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。